



※  は市旗です。市全体の話題の場合に表記しています。



街を鮮やかに彩る イルミネーションが点灯

11月15日から中央地区商店街で、11月16日から輝北地区の国道504号のかのや市商工会輝北支所前で、色鮮やかなイルミネーションが点灯し、クリスマスを前に華を添えています。

今年初めてイルミネーション点灯が行われた輝北地区では「輝北から元気な鹿屋をPR事業実行委員会」が6か月前から準備を進め、同日にはイルミネーション点灯式も行われました。

冬の静かな夜に神秘的に光り輝く、何万個もの光を友人やご家族など皆さんで、ぜひ、ご覧ください。



▲中央地区商店街
期間＝1月14日まで



▲百引校区公民館
期間＝1月15日まで



秋風を感じながら 大隅路を駆け抜ける

11月24日、霧島ヶ丘公園を発着点に、「第13回 ツール・ド・おおすみ ecoサイクリング大会」が開催されました。

これは、本土最南端佐多岬をまわるほか、神川大滝や南大隅町の県根占自転車競技場のバンク体験など、特長的な3つのコースを走る県下を代表するサイクリングイベント。遠方では北海道からの参加もあり、県内外から年齢も様々な656人が参加。

当日は130人を越えるスタッフの協力のもと、参加者はさわやかな秋風を感じながらコースを駆け抜けていました。



南町のコスモスが満開

11月3日、南町で「コスモス鑑賞会」が行われました。コスモス畑は、南清水川水利組合活動組織が収穫後の水田約2haを活用し、植栽しているもの。今年も約200万本が鮮やかに咲き誇りました。

花畑の中央部にはステージが作られ、南小学校鼓笛隊の演奏会や約250年の伝統ある「田の神舞」が披露されたほか、農産物の販売会や抽選会で盛り上がりました。



花を楽しみながら ウォーキング

11月3日、霧島ヶ丘公園周辺で「第11回かのや・ばら祭りウォーキング大会」が開催されました。

参加者の健康増進や交流を目的に行われる同大会では、ばら園内を含む9km・5kmコースに約150人が参加。

参加者は、小雨が降る中、満開のバラやコスモスを楽しみながら思い思いのペースで歩き、さわやかな汗を流していました。



いつまでも夫婦仲良く 合同金婚式を開催

10月31日、ホテルさつき苑で「第31回鹿屋市合同金婚式」が開催されました。対象者は、市内に住む結婚して満50年になる夫妻143組で、当日は130組が出席。

祝宴では幼稚園児から「おじいちゃんおばあちゃん、これからも仲良く長生きしてください」というお祝いの言葉が述べられ、出席者は温かい拍手と笑顔で応えていました。



「わんぱく そお太くん号」運行しています

11月19日から、JAそお鹿児島による移動購買金融店舗車「わんぱく そお太くん号」が輝北地区を運行しています。この車は、生鮮食料品の販売や金融店舗機能を備えており、地域の皆さんの買い物等を支援します。

○巡回は毎週水曜日で、
JA市成事業所 11:50～12:30
高尾校区公民館 13:40～14:20
平南校区公民館 14:40～15:20



プレミアム商品券を発売

11月27日、鹿屋商工会議所で「元気な「かのや」プレミアム商品券販売開始セレモニー」が行われました。

商業基盤と地域経済の活性化を目的に、3億3千万円分を発行。市内の加盟店360店舗以上で利用でき、10%のプレミアムが付いていることから、発売初日は買い求める人々の長蛇の列となり、例年よりも早い6日間で完売しました。



「永遠の0」公開直前 原作者百田尚樹氏が講演

11月24日、鹿屋商工会議所で「百田尚樹氏特別講演会」が開催されました。この講演会は、12月21日から公開される映画「永遠の0」を記念して、原作者である百田氏を招いて行われたもの。

当日は、50歳から小説を書き始めた経緯や「永遠の0」に込められた想いなどが語られ、満員にふくれ上がった会場では大変な盛り上がりを見せました。



商店街が多くの 買い物客で賑わう

11月24日、中央地区商店街で「第35回鹿屋市秋まつり歩行者天国」が開催されました。

当日は、商店街約800mが歩行者天国となり飲食店など多くの店舗が軒を並べたほか、ステージイベントやダンス、ひょっとこ踊りなどが披露されました。また、市内の高校生による生産物の販売なども行われ、家族連れなど約2万2千人の観客で賑わいました。



科学の楽しさを学ぶ

11月23日、市中央公民館で「青少年のための科学の祭典in鹿屋2013」が開催されました。

これは、子どもたちに科学の面白さを伝えようと小・中・高校の先生が「葉脈標本づくり」「ポンポン船づくり」など25通りの理科の実験コーナーを設けたもの。参加した児童生徒は、工夫を凝らした実験を通して理科の楽しさを学んでいました。



安全・安心な かのや紅はるかを初出荷

11月5日、JA鹿児島きもつき横山集荷場で、「かのや紅はるか」の初出荷発式が行われました。今年から、新たに定められた栽培・出荷基準をクリアした商品のみを「かのや紅はるか」として認証する制度を確立。

今回はその基準を満たした「かのや紅はるか」約1tが、兵庫県尼崎中央青果に向けて出発していました。